あたた

1) 構造

「場をつ の絆を強め、 「内なる力を 前回との差異

2) 過程評価

「患者への後」 領域、「場をつく た。過程において 質を維持されるこ

3) 結果評価につい

①患者満足度評価に 患者満足度は、前回 比較しますと、僅かに

②インシデント評価に

転倒と転客の作数がから す。これまでの経験で、過4 インシデントを未然に防ぐ、 防ぐ」に関連して、不確から ます。過程評価は一部の看護 で、これらのことを確認する。

(度)全体の平均は

:体評価

40

いて、以下に記します。

した。「患者への接近」領域、「家族 、比較的よく維持されていました。 「は維持されていました。標準では

> 絆を強める」 領域、「直接ケア」 し、大変よく維持されていまし 続されています。 今後もこの

> > した施設全体の平均値と

に近く発生していま 予測が難しくなり、 、「インシデントを いう可能性もあり ものを表しますの

いたデータである。 ~回食を求めています。

×1,000

60 日間の入除患者のベ人数

- 本件数

全体輕压工

資病機

た。宝た、 されていま 持されてこ 患者満足を インシゲン いとは背えな 宝す。宝た、 を 構造、送程の

わらず、インシ いは核職種間の支 扱りなく少なくす さい。

今後、現在の質を

の極端で比較的よく維持されていまし では、6 領域すべてで大変よく維持 がほとんどありません。高い質を維

どに左右されますので、一概に高 例え、転倒と観塞が3件近くあり

領域でよい評価であるにもかか 4院の誰システムの問題、ある てください。インシデントは、 けた取り組みを継続してくだ

とを落し進めてください。

これは、これまで約 1 病棟の皆さん全員でお款。 の他お気づきのことがあり ち、もしくは otazunoệnui 活動に大変助けになります。

次百位, あな

述べられるものです。 値所がある場合、そ い合わせのボタンか ば、今後の研究所の

毒点データです。

病棟ID

07年度

病病(病果状分:一般病療

SHEWKER 154

あなたの病機の結果です。

構造得点 10 至四十

その名様の平均値です。。

11.35 cm 1.4 31.7				
न्त्रात (क्र-	номж	例如功格系		
生老个	(87.5%)	8.0 (100.0		
内立	75.0%)	10.0 (83.9		
水黄の	7%)	130 (92.9		
食能ケア	5)	19.0 (73.1		
場をつくる	7	220 (917		
インシデント	,	150 (93.8		

過程得点

相目(集合)	
患者への接近	4
内なる力を強める	(1)
家族の件を強める	(45)
直接ケア	{27}
場をつくる	(12)
インシデントを防ぐ	(24)

7628C	部内別の結果		
(29%)	- 1		
8%)			
73	-		
7			
,			

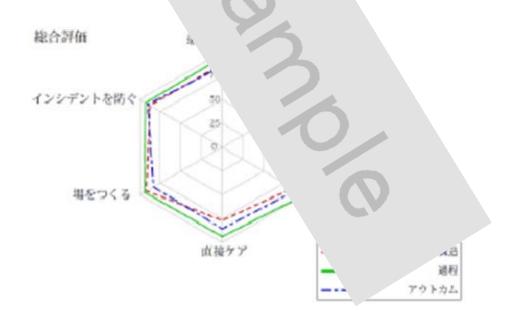
部内間の結果

アウトカム (患者満足度)

項目 (異点)		全国で	W
世界への技匠	(6)	52(85	*
内なる力を保める	(6)	55 (91.7)	
家族の肝を強める	(6)	5.1 (85.0%)	
直接ケア	(9)	7.4 (82.2%)	
単をつくる	(6)	5.0 (83.3%)	
インシデントを防ぐ	(6)	52(857%)	

アウトカム (インシデント1000 こり)

4613	全国サー	W.	前別の新見	値を図める基準
6.85		76	0.73	10
6:0K			4.04	
MIRI			0	19
以内感染	. 0		3.1	
NW			8	-



当該領域で「回答しない」が1項目以上あった場合は0点として表示されます。 ※満点を100として%で表示しております。